豊浦中学校学校だより

教育目標 言葉と心のキャッチボール



穂

並

第 10 号 令和 4 年 10 月 12 日発行

http://toyoura.shibata.ed.jp

日常生活を整える

校長 伊藤 真哉

新人大会の報告会で、生徒の皆さんに、「勝つことで得たものと、負けたことで得たものを、秤(はかり)にかけて重さを比べれば、やがて同じ目盛になる。」という言葉を贈り、「今後に向けての課題や目標を確認し、目標を達成するためには、何を、どれくらいすればいいのかをチームや個人で確認してほしい。」という話をしました。

そのことに加えて、もう一つ大切にしてほしいことがあります。それは、「日常生活を整える」ということです。私は常々、「部活の時だけできている」では、本番で力を発揮できる強さを身に付けることはできないと考えています。それはなぜでしょうか。

一日の中で、練習をする時間が約2時間だとします。一日の中で、2時間だけできて、他の22時間は違うことをやっているのでは、本当の力は定着しません。部活の時だけ礼儀正しい、顧問の先生やコーチの前では正しい行動ができる。しかし、その他の時間は、横着(おうちゃく)、適当だとすれば2時間だけが仮の姿で、22時間が本当の自分ということになります。



すると、試合や土壇場の時は、仮の自分ではなく、本当の自分が顔を出します。だから、肝心な時にミスが出る、決めるときに決められない。22時間の弱い自分、甘い自分が出てきます。

逆に言えば、強くなろうとすれば、日常生活から変えることです。日常生活は、誰も見ていないことが多く、唯一見ているのは、自分自身です。誰も見ていないときにどれだけ自分自身を甘やかさず、強い気持ちで正しい習慣を実行できるかが大切です。その正しい習慣が身に付いたときに、初めて強くなれるのだと思います。自分自身の心身の成長のためにも、ぜひ「日常生活を整える」という考えを行動に移していきましょう。

朝夕はめっきりと冷え込み、秋の深まりを感じる季節となりました。今年度の教育活動も折り返しを過ぎました。個々のよさや成長を見取りながら、集団としても実り多い学期にしていきたいと考えております。保護者・地域の皆様には、引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げます。

市内新人大会がんばりました

天候にも恵まれ、絶好のコンディションの中で市内新人大会が行われました。各会場では、 熱戦が繰り広げられ、子どもたちは大会を通して成長することができたようです。「勝って得た ものと、負けて得たものを、はかりにかけて重さを比べれば、やがて同じ目盛りになる」という言 葉があります。新人大会で学んだこと、見えてきた課題をしっかりと振り返り、新たな目標を設 定して取り組んでくれることを期待しています。各部の結果をお知らせします。



市内新人大会の結果

《野球(本丸・豊浦・七葉)》 3位 市内総当たり 2勝2敗

《男子ソフトテニス》 団体2位 市内総当たり 3勝1敗

《女子ソフトテニス》 団体2位 市内総当たり 3勝2敗

《バレーボール》 1勝2敗

《陸上》

共通男子 200m 7位 伊藤湊(みなと)

共通男子 800m 2位 石井杜和(とわ)

共通男子 1500m 5位 石井杜和(とわ)

共通女子走幅跳 2位 加藤苺花(いちか)

1年女子 100m 2位 加藤苺花(いちか)



野球部は、2日間にわたって4試合をしました。合同チームで難しかった連携プレーや練習試合のミスを生かした試合をすることができました。また、打線もつながり今までにないいい試合ができました。チームー丸となって目標に向かって試合をすることができました。結果は3位でしたが、この悔しさを次の大会に生かしていきたいです。応援ありがとうございました。

野球部部長 川上 大喜(だいき)

私は、新人大会を終えて、またみんなとの絆が深まったような気がしました。3年生が引退してから、初めてのチームでしたが、みんなで楽しくできてよかったです。しかし、新人大会では紫雲寺中学校に負けてしまい、2位でした。今回の経験をいかし、次の大会では優勝できるように日頃の練習を精一杯やろうと思います。 男子テニス部部長 徳永 玲海(れの)

9月 28 日に行われた新人戦で、私達ソフトテニス部は、2位という結果でした。私は、みんなが精一杯戦えた試合だったと思います。自分より強かったり、実力がわからなかったりする相手と全力で楽しんで戦えたと思います。しかし、団体戦だったということもあり、反省すべき点もたくさんありました。これからの練習でそれをなくし、次の大会に生かしていきたいと思います。応援ありがとうございました。

私達バレー部は、新人大会で、夏休みより個人とチームの成長を感じました。理由は、サーブをしっかり入れることができましたし、アタックの本数が増えてきたからです。自分達の成長も感じましたが、他校のチームで活躍する | 年生を見て、私達も負けずに頑張っていきたいと強く思いました。また、上手な人のプレーを見て学べて良かったです。私達も | 年生だからと言い訳をせず、チームー丸となって頑張っていきたいです。

新人戦を終えて感じたことを一言で表すと「努力」です。理由は、6月の大会よりもチームのみんなが見間違えるくらいに成長していたからです。また、みんなが自分の成長のために部活で一生懸命練習していたのを感じていたからです。この感じたことを心に入れて練習や大会にはげみたいです。 陸上部部長 伊藤 湊(みなと)

1年生 総合学習「地域を知ろう」(9月22日木曜日)

Ⅰ年生は、しばたの心継承プロジェクトの一貫として、総合学習の時間に、「地域を知ろう」のテーマで学びを深めています。新発田の歴史、自然、文化、産業などを知り、地域の街づくりや活性策について考えていきます。この日は、新発田市役所みらい創造課の松田朋子様と、新発田歴史文化プロジェクトの内本隆様を講師にお招きし、「新発田市の現状と課題について」「新発田歴史プロジェクトと新発田の偉人・大倉喜ハ郎について」の演題でお二方からそれぞれご講演をいただきました。ご講演をお聴きした生徒たちの課題意識をもとに、今後、体験的・探究的に学びを深めていきます。学びの様子は随時お知らせします。





2学年 PTA 行事 地域清掃活動 (10月 1 日土曜日)

2学年PTA行事の地域清掃ボランティアを行いました。生徒は学級ごとに、真木山(小坂~下飯塚)の道路脇の清掃活動と校地内の落葉清掃を行いました。気温が高い中でしたが、生徒たちは、汗を流しながら一生懸命に活動してくれました。地域貢献や環境問題について考えるよい機会になったと思います。保護者、動木橋の役員の方も参加してくださり、生徒の安全に配慮しながら一緒に活動してくださいました。ご支援、ご協力に感謝申し上げます。



